

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）							KPI（成果指標②）							R7当初 予算額 (千円)	R7決算額 (千円)	評価	主な取組と成果に対する評価	今後の 方向性				
					指標名	基 準 年 度	基準値	中期 目標	R7目標値	R7実績値	達成率	指標名	基 準 年 度	基準値	中期 目標	R7目標値	R7実績値	達成率									
Ⅲ「安らぐまち」の実現																											
自助・共助・公助 による防災力のさらなる 強化	1	災害に備えた 備蓄整備強化 事業	「福岡県地震に関する防災 アセスメント調査」による本 市最大避難者数（約22,000 人）の想定を基に、非常用食 料、非常用飲料水、要配慮者 用の生活物資等を、市内で計 画的に備蓄整備する。	危機管 理課	備蓄の適正 量の整備	R5	食料 198,000食 飲料水 6,600ℓ ミルク 2,400食		—	食料 198,000食 飲料水 6,600ℓ ミルク 2,400食		食料 198,000食 飲料水 6,600ℓ ミルク 2,400食		100.0%									19,000	20,428	順調	非常用食料、非常用飲料水、要配慮者用の生 活物資などを計画通り確保しており、「順調」 と評価した。	継続
	2	地域と連携した 避難所開設・運営事業	迅速な避難所の開設や地域 防災力の向上等のため、市と 地域住民が連携し避難所の開設・運営を行う。	危機管 理課	参画する校 区まちづくり協議会数	R5	35 校区		—	45 校区		40 校区		88.9%									7,600	6,098	概ね 順調	地域への事業説明や意見交換等を通じて理解 を深めることで、参画するまちづくり協議会数の 増加が図られた。 成果指標は目標に届かなかったものの、参画 団体は増加（R6:37校区→R7:40校区）してい おり、「概ね順調」と考える。	継続
	3	創ろう！北九 州防災トレー ニング	近年、大規模化、激甚化が 進む災害に対応するため、災 害シミュレーションの検討を 行い、より実践的で効果のある訓練を実施する。	危機管 理課	「実際に災害が起 きても対応できる・概ね 対応できる」と回答した 人の割合の上昇 （訓練実施後にアン ケート）	R5	77.0 %		—	80.0 %		84.0 %		105.0%									9,000	7,931	順調	市総合防災訓練では、これまで実施してきた 災害対策センター運営訓練に加えて、新たに本 庁舎に勤務する職員を対象に緊急参集訓練を実 施した。 また、各区防災訓練では実践的な訓練を実施 することで、地域住民の防災意識の向上や地域 防災力の強化に努めた。 これらの取組により、成果指標は目標を上 回ったため、「順調」と評価した。	継続
	4	個別避難計画 作成促進事業	災害発生時等に自力で避難 することができない避難行動 要支援者（高齢者や障害者 等）の個別避難計画を、福祉 専門職と連携して作成する。	危機管 理課	個別避難計画作成率	R3	37.0 %		R8年度 までの 目標： 75.0%	75.0 %		61.2 %		81.6%									4,900	3,807	概ね 順調	個別避難計画について、自治会など地域での 作成が困難なものについては、福祉専門職と連 携し、作成率の向上に努めた。 成果指標は目標に届かなかったものの、達成 率は80%を上回ったため、「概ね順調」と評価 した。	継続
防犯カメラや防犯灯の増 設やAIなどの技術を取り 入れた防犯対策の更なる 推進	5	防犯カメラ運用 事業	安全・安心な市民生活を確 保し、犯罪に強い都市づくり を推進するため、街頭防犯カ メラの設置、運用を行う。	安全・ 安心推 進課	刑法犯認知 件数	R6	6,482 件		—	R6年比 減	6,743 件		96.0%									57,740	72,880	概ね 順調	繁華街（小倉・黒崎）の防犯カメラを全面的 に更新するとともに、通信方法の見直し等によ り画質を向上させることで、防犯体制の強化を 図った。 また、主要駅周辺への防犯カメラの設置、管 理運用を適切に行った。 成果指標は目標に達しなかったものの、犯罪 を寄せ付けない環境を整備することで、街頭犯 罪の抑止や地域全体の防犯意識の底上げにつな がったと考えており、「概ね順調」と評価し た。	継続	
	6	防犯灯設置事 業	安心して生活できるまちづ くりの推進の一環として、夜 間における犯罪の発生を防止 し公衆の通行の安全を図るた め、LED防犯灯を設置する。	安全・ 安心推 進課	刑法犯認知 件数	R6	6,482 件		—	R6年比 減	6,743 件		96.0%									21,800	63,327	概ね 順調	LED防犯灯の設置及び防犯灯の維持管理を適 切に実施した。 成果指標は目標に達しなかったものの、犯罪 を寄せ付けない環境を整備することで、街頭犯 罪の抑止や地域全体の防犯意識の底上げにつな がったと考えており、「概ね順調」と評価し た。	継続	

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）									KPI（成果指標②）									R7当初 予算額 （千円）	R7決算額 （千円）	評価	主な取組と成果に対する評価	今後の 方向性
					指標名	基準 年度	基準値		中期 目標	R7目標値		R7実績値		達成率	指標名	基準 年度	基準値		中期 目標	R7目標値		R7実績値					
暴力団対策の強化、市外 発信による「安全・安心 なまち」のイメージ定着	7	暴力追放推 進・支援等事 業	市民、企業、団体等が暴力 団排除の認識を深め、暴力団 排除活動に取り組むことがで きるよう広報啓発及び支援を 行っていく。 また、福岡県警や（公財） 福岡県暴力追放運動推進セン ター、北九州暴力追放推進会 議、各区防犯協会等とも連携 を図り、暴力排除並びに地域 防犯活動を推進することで、 安全・安心なまちづくりを進 めていく。	安全・ 安心推 進課	暴追対策に 対して評価 した市民の 割合の増加 （行政評価 市民アン ケート：毎 年度）	R6	75.4 %		—	R6年度 比増		69.5 %		92.2%									10,100	5,714	概ね 順調	暴追大会や暴排研修を実施し、市民や企業に 対して暴力団排除の認識を深めてもらう機会を 設けた。 成果指標が前年度より下がったことについて は、暴力団対策は着実に前進し勢力は衰退して いるものの、匿名・流動型犯罪グループが台頭 し、犯罪が多様化していることが市民意識に影 響を与えている理由の一つだと考えられる。 成果指標は目標に届かなかったものの、達成 率は90%を上回ったため、概ね順調と評価し た。	継続
	8	若者の犯罪行 為への加担防 止啓発事業	若者が「闇バイト」等の犯 罪行為に加担することを防止 するため、市内でウェブを閲 覧する若者を対象としたター ゲティング広告やホームペー ジ等で広報啓発を行う。	安全・ 安心推 進課	暴追対策に 対して評価 した市民の 割合の増加 （行政評価 市民アン ケート：毎 年度）	R6	75.4 %		—	R6年度 比増		69.5 %		92.2%									900	889	概ね 順調	インターネット広告や動画放映など、若者に 直接メッセージを届ける広報活動を実施した。 成果指標が前年度より下がったことについて は、匿名・流動型犯罪グループが台頭し、若者 が関与する犯罪が多様化していることが市民意 識に影響を与えている理由の一つのだと考えら れる。 成果指標は目標に届かなかったものの、達成 率は90%を上回ったため、概ね順調と評価し た。	継続